

### 3・14「アメリカばんざい」上映とお話の会に参加を!!

古荘斗糸子

「アメリカばんざい」上映とお話の会——戦争を拒否したアメリカの若者たち (三月一四日(土)) / 於・立川女性総合センター・アイム

#### ■映画のこと

昨年八月初め、「アメリカばんざい crazy as usual」が東中野ポレポレ座で上映されることを、影山あさ子さんが、あるMLで宣伝していました。「アメリカの現実『貧困徴兵制』は日本の近未来の姿でもある」、そういう趣旨の影山さんのメールを読み、行くならこの日しかない!と、予定を突っ込んで行きました。

どんなにまじめに働いても学費を払えない、または家族を養えない若者たちが軍隊にリクルートされていく。その結果、心身をポロポロに壊すという致命的な代償を払って戦争が間違っていることに気づき始め、反戦の行動を始める。そういう若者たちをインタビュで追っていくドキュメンタリーでした。映画を観て、厳しいアメリカの現実にいる若者たちがトゲトゲしていないことを感じ、映画制作者の温かい視線を感じました。中年のおばちゃんたちがリクルートセンターの前で座り込み、警官に逮捕される短いシーンがあります。「一人でも救えるなら、喜んで牢屋に入るわ」。二人の警官に両腕を抱えられて連れて行かれる彼女たちの顔は穏やかです。テキでした。

#### ■「抵抗する勇氣——courage to resist」日米交流ツアー

昨秋、影山あさ子さんがアメリカから二人の若者をゲストに迎えて、二週間の全国ツアーを組む計画を立て、私たちの会の一人がその話を持つてきました。小さな私たちの会の力量では、上映会どころか講演会を組むのは至難のワザです。それでいくつものグループに共催または協賛を呼びびか

けることにして、まず日程と場所を押さえました。「日米交流ツアー」の日程には、結果的に東京では立川だけ(近辺では座間・大和市・横須賀でも)になり、三多摩に絞らずに協力を呼びかけることにしました。今現在、実行委員会には、共催(二団体)、協賛(二三団体・個人)が参加しています。

#### ■戦争を拒否したアメリカの若者たち

ちょうど昨秋、「イラク 米軍脱走兵、真実の告白」(ジョシユア・キ一元アメリカ陸軍上等兵、合同出版)が出版され、胸を熱くして夢中で読みました。愛国心に燃え、自分は国のため、平和のために役立っていると信じていたジョシユアが、イラクで連日民家を家宅捜索、無抵抗の市民に暴力を加え、すべての男性に手錠をはめて拉致する仕事を繰り返すうちに、戦争は間違っていると気がつき、命がけでカナダに脱走する……。この本のジョシユアが、今度、私たちがゲストとして迎える二人の若者とも重なり、期待は膨らんでいきました。

三月、お迎えするゲストの一人はジェフ・パターソンさん。湾岸戦争を拒否した元海兵隊員。二ヶ月間牢屋に入り、除隊。その後「拒否兵の支援組織」を設立し、活動しています。もう一人はデリアナ・ロペスさん。彼女は幼い頃から空軍のパイロットに憧れていたが、地域労組の励ましで空軍入隊を思いとどまります。現在は、彼女の住む地域にあるケリー空軍基地からの深刻な汚染・基地被害と闘っています。お二人の話を、ぜひ日本の私たちの運動に活かせるよう、広い層に参加を呼びかけたいと願っています。詳細は同封チラシを参照下さい。反安保実も共催しています。

(ふるしよう・としこ)うちなんちゅの怒りとともに!三多摩市民の会